

綺麗になることで幸せになる人を増やし、ともに成長する

海外で美容師としての技術を学ばれたんですね。

ニューヨークのドライカットと、日本のカットベースであるロンドンで生まれたウェットカットを学びました。都内でも日々貪欲に技術を求めてきました。やっぱり綺麗になってほしい、喜んでほしい、これらを追う気持ちから、海外に出るに至りました。技術を向上し続けることは、職人として当然の意志だと思いますね。

そこで何を学んだのですか？

技術だけでなく、世界中、日本全国の素晴らしい人達と出会いがありました。また、そこで多くのチャンスを与えてもらいました。それによって自分が変わったことへの感謝から、今度は人にチャンスを与えることができる人間になれたらという思いを強くしましたね。

どうして流山で開業をしたんですか？

僕の小さな頃住んでいた流山は失礼ながら田舎。田んぼでカエルとったり、カブトムシとりに行ったりしていました。今ではいろんなところから人が移り住んでいて、まちは明るく勢いを感じます。地元でもあるこのまちのこれからの成長に期待し、一緒に成長したいと思ったんです。

自分の専門スキルで、流山=田舎のイメージを壊して、流山=綺麗な人が多いイメージにしていけたらと考えています。



1. ロンドンの仲間と刺激し合いました。
2. OPEN一周年記念時にスタッフと。
3. 子どもの頃たくさん遊んだ地元の公園。



わけ部 なお
分部 直さん

分部さんってどんな人？
厳しい方ですが、その背景に愛を感じることができる熱い人。背中は大いば遠いけどいつか追い越したい！（込山）

流山で起業し自身の美容室を経営。はさみや薬液などはもちろん、店内の装飾などもこだわりのもの。

こだて なおと
小館 直人さん



小館さんってどんな人？
小館さんのお店で珈琲を売るのが教えてもらってます。色々なことを試してみても楽しかった。（羽奈 7歳）

年長、1、2年生と保護者のみなさんと流山本町をスタンプラリー

地域に温かく見守られてきた記憶がある

流山ネイティブにとってまちの魅力はなんですか？

ネイティブなんて言葉が使われるくらい、市外から住み移れる方がとても多いまち「流山」。多世代が関わる地域活動が魅力的です。3歳から地域活動に参加して24年間、多くの市民との遊びや学びを通じて育ってきました。そんな僕の記憶には、色々な人がいて温かい気持ちがあります。地域でつながる機会がもっと増えたら良いなと思い、地域団体を設立しました。

どんなメンバーの方々と活動しているのですか？

活動のメンバーはパパ、ママ、シニアのどこにも属さない20代が中心で、地域活動では珍しい存在になっています。子どもたちには将来、地域で我々のような立ち位置で活動を続けてくれたら嬉しいなと思っています。

どのようなことを大切に活動していますか？

継続すること、多くの人と関わることを大切に活動しています。毎月、運河駅近くで開催される「うんがいい！朝市」では、子どもたちが淹れたコーヒーを提供するお店を開いています。また、他団体とのコラボレーション企画を通じて、忍者修行やダンボール遊びなどで地域とつながっています。



1. 子ども達と珈琲を販売し、活動資金を集めています。
2. こだわりの珈琲を用意。
3. 月に一回の利根運河で行われる「うんがいい！朝市」にて。
4. 大人も子どもも本気で遊びます。